

# 10年のまとめ・・・男子、「明大、専大の両雄を軸に展開」 女子、「青学大盛期から混戦期に」

各大会・各種目別優勝回数一覧表を基に、この10年を総括してみると、男子は「明大・専大の両雄を軸に展開」し、女子は「青学大盛期から混戦期に」と言うことが言える。

男子の明大と専大は共に団体で全体の3分の1以上ずつの優勝を誇る。この10年間の内でも、特に序盤の数年は「インカレ決勝でもリーグ戦最終日の直接対決でも、最後に優勝を争うのはこの2校」というのがお決まりのパターンだった。

個人ではやはり渋谷・松下（浩）・田崎・遊澤の五輪選手を輩出した明大がダントツ。リーグ戦特別賞受賞者も最多の6人を輩出しており、その内、4人が30勝以上をあげる、という頂点の高さを誇っている。新人戦優勝がないものの、田崎、遊澤両選手は、入学直後の世界選手権に出場のため、当然、優勝候補筆頭であった新人戦に不出場、という事情があつての結果である。五輪・世界選手権をはじめ、各種国際大会への日本代表を見ても、全日本の上位を見ても、明大勢（OBを含む）が主軸を占めており、その強さがわかる。

伝統校・専大は、明大に比較すると頂点の高さよりも選手層の厚さが持ち味。全大会全種目で優勝者を出しているのは、男子では専大だけである。

その他では、大正大、中央大、早大が中堅の位置をキープしている。

この10年間で躍進してきたのが埼玉工大。外国人留学生勢を主軸にリーグ戦5部から、わずか2年で2部へ昇部し、個人タイトルも明大・専大に続き、大正大と並ぶ8個と健闘している。

一方、伝統あるかつての強豪・日本大が、10年間で新人戦のタイトル3つのみと、低迷しているのは寂しい。

女子は青学大の強さが群を抜く。インカレ・リーグ戦では、共に過半数の優勝を青学大1校で占めている。特に、女子史上タイ記録のインカレ4連覇の偉業は賞賛される。この他にも大会が中止されなければさらに連覇を続けた可能性が高い東西優勝校対抗戦7連覇などの大記録も達成した。個人戦でも男子・専大同様、全大会全種目で優勝者を出しているが、これは女子では青学大のみである。星野選手以来続く関東学生単7連覇（単複同時5連覇を含む）の記録も光るが、一転して平成3年以降の6年間は関東学生のタイトルなし。女子の混戦期が始まることとなる。青学大に取って代わるように、平成4年度以降は外国人留学生選手が女子単5連覇中である。

青学大に続く活躍をしたのが、専大。序盤の数年は、男子の明大・専大決戦同様、女子の青学大・専大決戦が大会毎に繰り広げられていた。だが、インカレや全日学・関東学生のシングルスといった華のある種目での優勝がないのは寂しい（インカレは昭和53年優勝以後、18年間、全日学・単は何と昭和34年の松崎キミ代以来、37年間、優勝から離れている）。

男子同様、大正大、中央大が中堅の位置をキープしているが、特筆されるのは富士短大の頑張り。選手の新陳代謝の激しい短大でありながら、団体戦・個人戦ともに4年制大学と互角に渡り合い中堅をキープ、特別賞受賞者が5人と青学大と並ぶトップタイでもあり、インカレでは男女を通じて史上初の30年連続ベスト8以上を記録した。

この5年間で躍進してきたのが淑徳短大。外国人留学生勢を主軸に、青学大・専大に続く8個の個人タイトルを獲得しているスタイルは男子の埼玉工大とオーバーラップする。

対外的には、残念ながら関東学連女子の戦力低下は認めざるを得ない。五輪代表選手は現役はゼロ。OGは星野のみ。世界選手権などの主要国際大会の日本代表や、全日本などの上位進出選手の主軸は高校から直接実業団入りした選手や外国から帰化した選手が占めている。男子に比べ、選手寿命が短いとされていることや、男子ほど学歴を必要としないことから、今後とも「選手生活を大事に思うなら大学で回り道をせずに直接実業団へ」と考える選手が増加する可能性も高いと思われる。学連側のサポート体制の整備・充実が望まれる。

## 優勝回数一覧表

(昭和62年～平成8年のみ)

この表は「団体戦合計順」、同数の場合は、「個人戦合計順」で掲載しました。

男子	インカレ	東西優勝校	リーグ戦	団体戦合計	全日学		東日学		関東学生		新人戦		個人戦合計
					単	複	単	複	単	複	単	複	
明治大	4	2	8	14	2	4		1	4	2			13
専修大	3	1	7	11	1	2	2	1	2	2	3	2	15
中央大	2		2	4						1	1	2	4
大正大			2	2		1			1	1	3	2	8
早稲田大		1	1	2		1		2	1	2		1	7
埼玉工大				0	2				2	2	2		8
日本大				0							1	2	3
日本体育大				0								1	1
他学連	1		-----	1	5	2	2		-----	-----	-----	-----	9
合計	10	4	20	34	10	10	4	4	10	10	10	10	68

女子	インカレ	東西優勝校	リーグ戦	団体戦合計	全日学		東日学		関東学生		新人戦		個人戦合計
					単	複	単	複	単	複	単	複	
青山学院大	6	4	10	20	1	3	1	3	4	2	2	2	18
専修大			5	5		3		1		5	1	2	12
大正大	1		2	3					1	1	2	1	5
中央大	1		2	3	1	2						1	4
富士短期大	1		1	2		1				1	2	1	5
淑徳短期大				0	2				2		2	2	8
日本大				0			1			1			2
日本体育大				0					2				2
筑波大				0							1	1	2
早稲田大				0					1				1
他学連	1		-----	1	6	1	2		-----	-----	-----	-----	9
合計	10	4	20	34	10	10	4	4	10	10	10	10	68